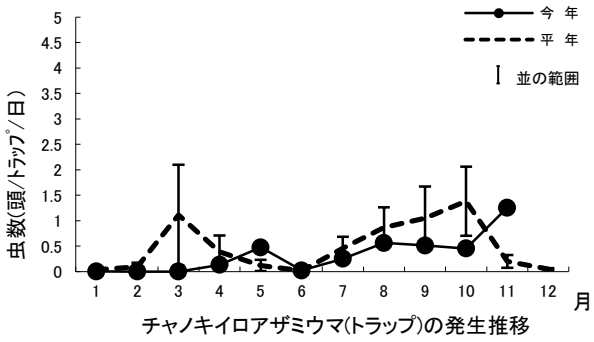
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
11 月の発生量（現況）	多		
12 月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	トラップの誘殺虫数の平年の発生推移から、11月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

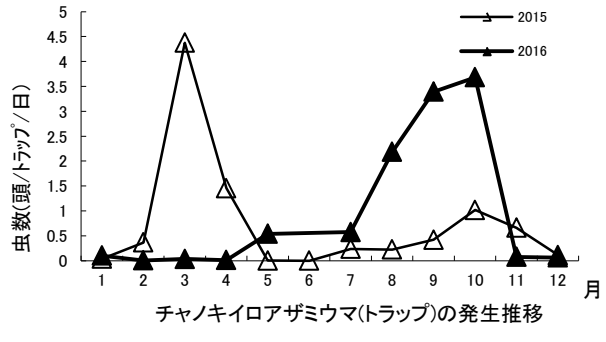
・ 11月の黄色粘着トラップへの日・トラップ当たり誘殺虫数は1.3頭（前年0.1頭未満、平年0.2頭）と平年より多かった。

(今年のデータ)



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

(過去2年のデータ)



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

・発生源となる施設内外の雑草を除去する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。

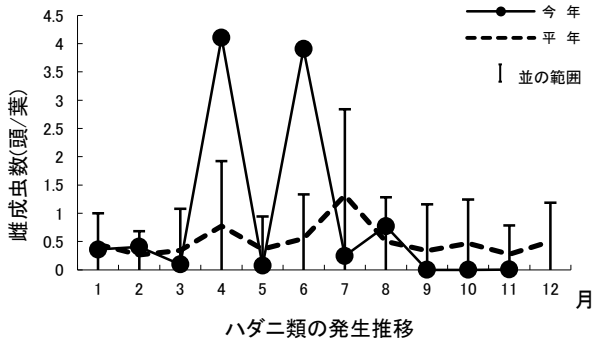
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② ハダニ類		
11 月の発生量（現況）	並		
12 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移から、11月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

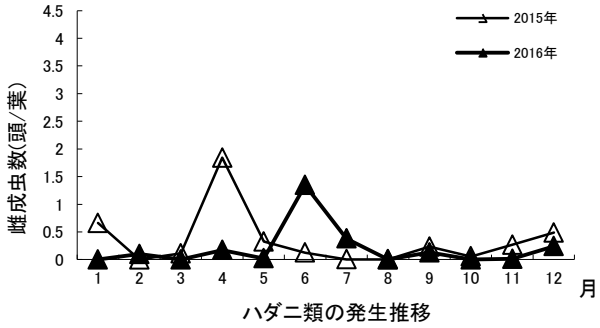
・ 11月下旬の調査の結果、成葉の葉当たり雌成虫数は0.1頭未満(前年0.1頭未満、平年0.3頭)と平年並であった。

(今年のデータ)



ハダニ類の発生推移

(過去2年のデータ)



ハダニ類の発生推移

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。

平成　29 年度

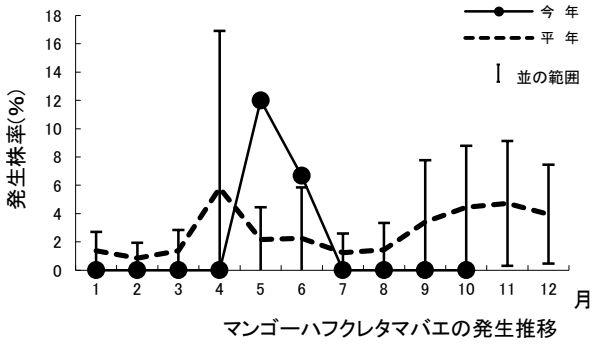
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ		
11 月の発生量（現況）	(発生なし)判定不可		
12 月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	発生株率の平年の発生推移、新梢の発生がほぼ終息していることから、11月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

・ 新梢が少なかったため、調査を実施できなかった。

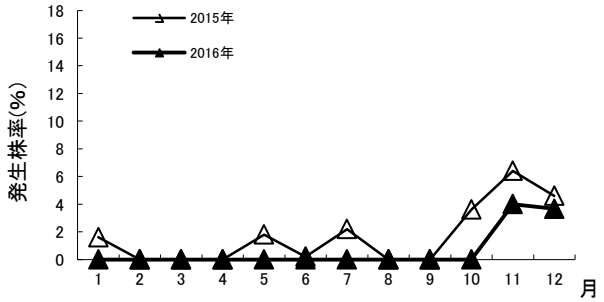
・ 防除員の報告によると、マンゴーハフクレタマバエの発生は確認されなかった。

(今年のデータ)



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

(過去2年のデータ)



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。